

令和2年度特定非営利活動に係る事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

特定非営利活動法人まえはら子育てネットワーク

1. 事業の成果

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により認定こども園おひさま、児童発達支援つくしんぼは4.5月休園となり、6月からは分散登園、7月に完全再開となった。子ども達の学びを安全にいかに保障していくか、コロナ感染対策マニュアルを作成するなど、職員で何度も話し合いを重ね、思考錯誤しながらもできる限りの工夫と準備をして、保育を実践してきた。

コロナ禍の中で人と人との距離を置くことを余儀なくされ、当法人のミッション“地域の中でみんなで育つ”ための活動が難しく、法人のおまつり「ネットちゃんまつり」、地域の「盆踊り」も中止となる等保護者同志の交流もあまり持てなかった。

児童発達支援事業は休園のため給付費が減収となったが、認定こども園は給付費等が例年通り支給されたので、当期正味財産は増額となった。またコロナ対策補助金により衛生用品や備品の購入、消毒のための人件費に充てることができた。

令和3年度も新型コロナウイルスの感染防止を講じながらの活動となるが、NPO法人としてできること、成すべきことに取り組んでいきたい。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
認定こども園 おひさま	自然体験、遊び、社会体験を通し、子どもたちが主体的に活動することで「生きる力」「自ら考える力」「他者を認める力」を育む。 子ども・子育て支援法、その他関係法令等を遵守し、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえ、利用子どもの心身の状況等に応じて、特定教育・保育を提供。 病児保育	年間 月～土	園舎	各日 12～14人	0～5才児 79人
認定こども園 子育て支援事業	あそびば 未就園児とその親を対象にして遊びと友達づくりの場の提供。	年間 21回 月・水曜他	園舎、地域の集会所他	各日 2～4人	就園前の親子 延べ 159組
	めだか教室 新入園児対象、スムーズに入園につなげる。親同士の親睦を図る。	10～3月 5回	園舎	2人	8組
	親を対象にした学習会	中止			
	子育て相談室	年間	園舎	4人	41人

こどもクラブ	絵画・造形教室 感覚的な物の捉え方を養う。色彩や形を中心に表現の面白さについて学ぶ。		15回	園舎	3人	4、5才児 16人
	おちゃっくらぶ（茶道教室） 伝統文化を学ぶ。		9回	園舎	3人	5歳児 12人
つくしんぼ (児童発達支援)	発達に特性をもつ子どもや保護者の立場に立った、適切な児童発達支援の提供。発達課題に応じたきめ細やかな支援。		年間 月～土	園舎	各日 6人	3～5才児 11人 2月～10人
小学生 体験活動	地域の小学生を対象とした実体験と居場所づくりを支援する体験教室	科学体験 子ども夢基金助成事業	11/297 中止 2回	園舎	6人	小学生 13人
		交流体験 芋作り、まちはっけん 子ども夢基金助成事業	芋作り 8回 まちはっけん 4回 寺子屋 中止	園舎 外	6～9人	小学生延べ 312人
		ダンボールで秘密基地 子ども夢基金助成事業	1回	園舎 外	5人	小学生 32人
ネットちゃん まつり	地域の子どもたちを対象に身近にあるものを利用し、おもちゃを作り遊ぶバザー		11/3 (土) 中止			
広報、活動紹介	情報誌「まえはら Net-News」 新聞発行 HP・ブログ		4回 HP ブログ随時更新	園舎	1回 3人	1回 400部